

『デジタル少女』

真鍋健治

デジタル少女

店員

NA 「このお話は、初めて携帯電話を購入したある青年のお話…

青年は今時珍しいくらいに世間知らずのpureなheart持ち主、彼はどうしても携帯電話が欲しく、好きな女の子とメールをするのが唯一の夢…。彼が立ち寄った怪しげな…聞いたこともない携帯電話メーカーショップ、ただと言う言葉に惑わされ購入を決意したのが運の尽き…なんと、なんとそこで携帯電話を購入するともれなく…一年間限定の少女型android『デジタル少女』がついてくるのだったこの少女、どこから見ても人間そのもの…彼女の機能は携帯電話の着信の秒前にお知らせしてくれると言う…シンプル且つどうでもいいような機能しかなく、

- 1 -

1 携帯電話NOSHIVAショップ

後は普通の女性なのだ。真面目でpureなheartの青年は携帯電話の購入と共に女性との同棲生活といった…激しいくらいにファンタジーを余儀無くされるのであった…。あっそうそう…この少女型android『デジタル少女』は…その体に触れると人間の約20倍の力で殴られてしまうのでお気を付けて…。最後に…一年間のご愛用ののちお客様がプライバシーやお客様の記憶は全てリセット致しますのでご心配なく…。では、デジタル少女との快適な暮らしを…」

- 2 -

*デジタル少女が飾ってある携帯電話屋店内に男が入ってくる。

男心の声「僕の名前は真鍋健治(まなべけんち)この度浪人生を経て、好きなあのこの待つ大学に通う事になったラッキー

boyそのお祝いになんとなんと携帯電話を購入しようと考え中！メールで愛を囁くキャンパス生活〜キター！初の携

帯初の彼女さらば二次元生活」

けんち「すいません外の看板に携帯電話ただって書いてあったんですけど…全部只なんですか？」

店員「はい、うちの商品はどれもただししかも基本料、使用料全てただなんです」

けんち心の声「うっ…いかにも怪しい店員…しかも全部フルにただなんて…いくら僕が世間知らずでもこれは怪しいだろう？」

店員「いかがなりました？」

けんち心の声「いかかもへちまもないだろう…笑顔が気持ち悪い〜大体NOSHIVA(ノシバ)のメーカーだよ？聞いた事ないよ…」

店員「あっお客様〜怪しいか思ってるんじゃないですか〜あつ凶星でしょ？大丈夫ですよお客様、我がNOSHIVAは日

- 3 -

本最大手のメーカーなんですよ〜(ここから小声で)ロボットの…」

けんち「アッハハハ…嫌、そんな怪しいだなんて…でも全てただだと流石に…ちなみに一年間契約なんですか？」

店員「はい、只今実験期間中…いやいやキャンペーン中なものでして…一年間のみの契約になっております。」

けんち「じっ…実験って…」

店員「お客様〜このチャンス逃したら損ですよ。嫌ならいんですけど」

けんち「そんな事言われたら…契約しないと損な気がしてきたな…」

店員「はいじゃあ契約と言う事でよろしいですね…ではこちらの方にサインをしていただけますでしょうか」

けんち心の声「うわ…胡散臭い笑顔…だがしかし、このチャンスを逃したら僕は一生携帯電話を持つ事が出来なくなるのでは…。そしたら…あのことメールも…よし契約しようけんち「契約宜しく願います。」

- 4 -

* けんちが契約書にサインをしている

店員 「あっそうそうお客様、ただ今キャンセル中につきジャンこちらの人型Android『デジタル少女』がついてきまーす。」

けんち心の声 「ギターやはり変な条件付きだったか…。何だよ？

女の子が付いて来る携帯電話って」

けんち 「あっ…すいません。やっぱりやめます。エヘ」

* 立ち去ろうとするけんち

店員 「ちょっと待てーいエヘじゃねーよ今更…こっちは組織に契約の連絡入れちゃったじゃねーかよやめるく、今更かよ？あうにいちちゃんよ」

けんち心の声 「ヒュー組織って…携帯電話と言うのがこんなに世間から疎外感を受けていようとは…契約しないと…間違

えなく消される…消されたら…あのことメール出来なくなる…」

けんち 「うっそでーす大事に使わせていただきますーす」

店員 「(笑顔)よかった私…つい…はしたないこと言ってしまったて…ゆるしてねん」

けんち 「アッハハハ…そんな事気にしないで下さい…アッハハハ」
店員 「はいAndroidの零(レイ)ちゃんです。レイちゃん…一年間は生かしておいてよ」

けんち心の声 「どういう事だ…生かしく…まさか…軍用兵器…僕は…僕は…国の反逆者？までまで生まれてからの19年…悪いことをしたと言え…あつよく吠える近所の犬に…チューインガム食わせた事くらいだぞ…まさかあの犬が絶滅危惧種…」

店員 「わからない事があればこちらに電話して下さいねー、あと、これ説明書です。Androidの解説が書いてあるから必ず読んで下さいね。では、レイちゃんを宜しくねー」

2

けんち部屋

デジタル少女を連れて店を出るけんち

座る二人

けんち 「(デジタル少女を眺めている)しかし良くできてるよな…。よく見るとなかなか可愛い顔してるよな…いかんいかん僕はなにを考えてるんだ…僕には好きなあのこがいるじゃないか…とにかく説明書読まなくちゃ…何々…この度、Androidメーカーでお馴染みのNOSHITA(性携帯電話)購入誠にありがとうございます。こちらこそ、女の子とメールを交換するチャンスをいただきありがとうございます。付属アクセサリーのSD-Proto-Digital少女の説明を致します。この少女は携帯電話の着信がなる5秒前に着信をお知らせ出来ると言う画期的な機能を搭載★注意…少女からの着信お知らせで携帯電話に出られても繋が

らないので、あくまで着信音がしてから電話にはで下さい。えっ…じゃあ…この機能なんの為に搭載したの…Androidデジタル少女の機能はこれだけです。はあ…これ…だけ…。尚、デジタル少女は充電も必要ですし、圏外の場所では動かなくなるので、ご注意ください…では、デジタル少女との快適な暮らしを。最後に…このデジタル少女の体に触れると人間の約20倍の力で襲いかかってきますのでくれぐれもエッチなご想像にはご注意ください。命の保証は致しません。人間の20倍か…考えれば考えるほど僕は馬鹿な買い物をしたのではないのか…いや…そこはボジティブに…彼女とのメールのためなら…例えば火の中…なんちゃって…しかしよくできてるよな」(Androidc)」

* 何の気なしにスカートをめくろうとするけんち
その時？ドーン
なんとけんちデジタル少女に

20倍の力で殴られ吹っ飛ぶ

デジタル少女「大丈夫ですか？」

「けんち」近寄る事も触れる事さえ許されない…愛しい、君との
…不思議な生活の幕開けだ」